第17回 福岡インディペンデント映画祭2025

2025 10/3 金曜日 4 土曜日 5 日曜日

福岡市美術館 ミュージアムホール
〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6

福岡市民芸術祭
ふくおか県芸術文化祭 Fukuoka Arts and Culture Festival

9.1よりイベスタで前売開始
当日は会場受付でも販売

TICKET 全日程フリーパス ￥3,000（税込）
1プログラム ￥1,000（税込）

- 高校生以下無料　・大学・専門学校生半額（当日会場受付のみ）
- 障害者手帳提示で 本人＋付き添い１名 半額（当日会場受付のみ）

上映スケジュール

1 コンペティション部門ナンバー　アフタートーク有り

	10.3 金	10.4 土	10.5 日
10:00		② 第 1 PG ／ 10:10 ～ 12:10 7 ものがたりの予感 18 HOLD UP MORNING	⑥ 第 1 PG ／ 10:10 ～ 12:20 招待上映 『みんな笑え』 音 字
11:00			
12:00			
13:00		③ 第 2 PG ／ 13:00 ～ 15:20 11 Eyeself〜ワタシノセカイ〜 10 ちあきの変拍子 3 アナログ坊やとおたずね老婆 16 「竹とタケノコ」	⑦ 第 2 PG ／ 13:10 ～ 15:25 12 霞始めてたなびく 8 LOCA! 1 さよなら来福亭 13 毒と音楽
14:00			
15:00			
16:00		④ 第 3 PG ／ 15:50 ～ 18:05 15 爽子の衝動 4 河童になる 17 国道７号線	⑧ 第 3 PG ／ 15:55 ～ 18:10 6 ばあちゃんの引っ越し 2 密談長屋 5 父は水が怖い 14 ジンジャー・ボーイ
17:00			
18:00			
19:00	① 第 1 PG ／ 18:45 ～ 20:45 国際部門 招待上映 ・Gavi ・September　他	⑤ 第 4 PG ／ 18:35 ～ 20:45 9 英雄歯 19 タイムマシンガール	授賞式／ 18:40 ～ 授賞式
20:00			クロージング博多ナイト ※関係者のみ
21:00	公式トークイベント	アフターパーティー ※関係者のみ	

応援が力になります ▶ サポーター制度はじめました！

Supporters
FUKUOKA INDEPENDENT FILM FESTIVAL

あなたの一歩が未来の映画を生み出します。
福岡インディペンデント映画祭は、創作と交流の場を支えるサポーターを募集しています。
温かいご支援をお待ちしております。

SPECIAL SPONCER

豊富なショート映画で、いつでもどこでもたくさんの感動に出会える
SAMANSA

主催：福岡インディペンデント映画祭実行委員会　TEL：050-1721-2171　MAIL：fidff_since2009@fidff.com
協賛：（株）SAMANSA　|　後援：福岡県、福岡市、（公財）福岡市文化芸術振興財団
協力：福岡市美術館、プサン独立映画協会、プサン・インターシティ映画祭、日本映像学会西部支部、bravesoft 株式会社（イベスタ）

コンペティション部門

コンペティションに応募された昨品の中からノミネートされた 19 作品を上映いたします。
「第 17 回福岡インディペンデント映画祭 2025 グランプリ」「各賞」は、授賞式にて発表！

Fiff 2025

さよなら来福亭　28.42min｜2024

監督：寺谷 千穂

街の片隅にある中華蕎麦屋の閉店の１日。３人の登場人物の様々な思いが、丹念に作られた味わい深いスープのごとく、みごとなブレンドを醸し出す。気持ちが優しくなる絶品の１本。

密談長屋　7.9min｜2024

監督：アブ シャヘド イモン

待つだけのはずが…何かがおかしい。
静けさに酔いが混ざり、じわじわ広がる違和感。
8 カ国の映画制作者が京都で仕掛けた見事な時代劇。観ずに語るにはまだ早い。

アナログ坊やとおたずね老婆　20.48min｜2024

監督：乾 拓歩

スマホを持っていない小学生のサナオくんが思いついた妙案とは？キレキレの撮影、編集、音響で魅せる、サナオくん、老婆とその息子が交差するクライマックスが見事。

河童になる　26.43min｜2024

監督：山科 晃一

コロナ禍の失敗から心機一転、役者になる決意をした主人公。という面白すぎる設定。個性豊かな俳優 2 人の演技に笑い、癒やされ、タイトルとは裏腹に、鑑賞後も余韻が残る視点が冴える作品。

父は水が怖い　27.29min｜2023

監督：プラティーク・ラジェンドラ・シュリヴァスタヴァ

それは何処でも誰にでも起こりうる老いた父と息子の日常。威厳があり優しく大きな存在であった父、老いて変わっていく父を暖かく丁寧に魚眼レンズを効果的に用いて愛しむように活写する。

ばあちゃんの引っ越し　11.25min｜2024

監督：北村 伊知郎

終始つづく佐世保の穏やかな風景とばあちゃんの静かな語りが心地良い。しかし語られるのは引っ越しの決意と未練。佐世保を出る理由と来た契機が交差する最後の日。

ものがたりの予感　19.40min｜2025

監督：鯨岡 弘識

夢と現のはざまのような幻想的な色あいの景色で始まるこのものがたり。
過去に戻れるとしたら、あなたはどこへ行きたいですか？
景色を映すビー球は忘れていた過去なのか、過去から未来へ繋がる夢なのか。

LOCA!　20.00min｜2025

監督：内谷 祐太・宮本 偉恩

緻密な背景に対してデフォルメ感あるキャラクターが見事に世界観にハマった。ワクワクさせてくれる冒険が進む先でやがて辿り着いたのは？ポストアポカリプスを堪能せよ！

英雄歯　4.06min｜2024

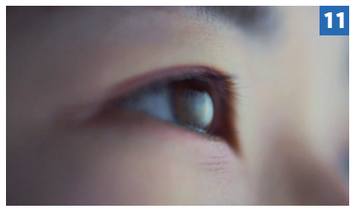
監督：飯塚 貴士

お待ちかね、みんな大好き『ENCOUNTERS』飯塚貴士監督の新作は、キュートな歯が主人公？！
見終わったあと、きっと誰もが元気になれる！

ちあきの変拍子　29.29min｜2023

監督：白岩 周也・福留 莉玖

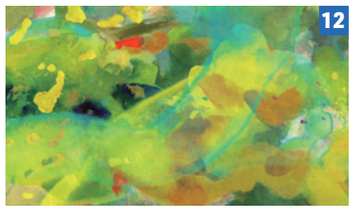
第 46 回ぴあフィルムフェスティバル(PFF アワード 2024）において、「ぴあニスト賞」を受賞した、米子高専放送部の現役学生作。思春期のリアルな悩みを、映画的仕掛けで魅せる意欲作。



Eyeself 〜ワタシノセカイ〜　14.20min｜2023　音 字

監督：山崎匠・宮原慧人・藤川玲央・八染まどか

弱視の監督４人が見る世界は、私たちには見ることのできない絶景でした。実写映画の幅を広げてくれる挑戦的な映像表現と温かな世界観をぜひ。



霞始めてたなびく　5.10min｜2025

監督：山中 千尋

アヌシー国際アニメーション映画祭で入選。タイトル通り情景の移りゆく様子が“ 動く絵画 ”として楽しませてくれる。アナログ画材がメインだがゲームエンジン・Unity の使用でも興味深い。

毒と音楽　43.00min｜2024

監督：節田 朋一郎

毒で？音楽で？世界を救おうとした若者たちの青春讃歌。バカみたいな夢に熱中したあの頃の気持ちがよみがえる。くだらなくても、真剣だった。そのまっすぐさを、ぜひ見届けてほしい。

ジンジャー・ボーイ　49.12min｜2024

監督：田中 未来

友情はいつまで続く？どんな頼み事も聞ける？どこまで寄り添える？どこか恋愛にも似ているこのバランスは難しく二人の関係が少しづつ変化していく様子は切なく残酷にも映る。見ていると苦しくなるが、良作！

爽子の衝動　45.02min｜2025

監督：戸田 彬弘

絶望しかない「ヤングケアラー」を描いた衝撃の問題作。重く、救いもないストーリーに思考停止に陥る。初主演の古澤メイさんの圧巻の演技に胸が締め付けられる。

「竹とタケノコ」　37.08min｜2024

監督：川上 信也

発達障害を抱えた青年が、伝統と両親の思いを継承する成長物語。日本の未来に明るい可能性を示してくれる一作です。

国道７号線　30.41min｜2024

監督：全辰隆

フェリーニの如く道と人生を語る圧倒的な海峡のスケール。抗えない美味しいみかんの記憶、この世とあの世、それでも繋がっていたい愛情を人は道具を使いコンタクトを取る。溢れる涙。丁寧で優しい詩劇。

HOLD UP MORNING　79.22min｜2024

監督：村口 知巳

時系列を行き来しながら交錯する人生、謎の少女、物語、死、、、奇妙に溶け合うドープなストーリーをお楽しみください。

タイムマシンガール　105.25min｜2025

監督：木場 明義

びっくりするたび過去に戻るとか、マジしんどい。でも、ひとりじゃない。誰かの存在に救われた日、あなたにもきっとあったはず。
巧みに仕組まれた脚本が光る上質なコメディ。

招待上映

みんな笑え　音 字　105min｜2024

監督：鈴木 太一

鈴木太一監督
野辺富三さん来場

人気もない、人望もない、野心もない、恋人もずっといない、五十歳の最低な落語家、太紋。家に帰れば認知症によって引退した師匠である父の介護の毎日。そんなある日、売れない若手漫才師、希子と出会ったことで太紋は自分の人生を見つめ直していく。落ちぶれた落語家の虚しい生き様を通して描く、落語と漫才、親と子をめぐる、熱くほろ苦い人間賛歌である。

キャスト：野辺富三、辻凪子
今野浩喜、今川宇宙、和田光沙
杉本凌士、片岡礼子、渡辺哲

国際部門

Gavi　30min｜2024

監督：キム・ミングン KIM Mingeun

プサンの監督がスペインで撮影した交流 WS 作品。ホテルの清掃員 Gavi は、303 号部屋を掃除中にブレスレットを拾うが、その所有者ロペスに真実を告げられずにいる。モラルのジレンマが複雑に絡まりあう人間模様。

September

監督：シン・ナリ SHIN Nari

写真家は、自然の中で原点回帰するかのように、母親と自身を撮影する。
母親と過ごしたあの日の雲、波、砂浜を、写真家は永遠のフレームの中に刻み込む。

Fiff 2025

上映作品詳細は公式サイトで